

塩田町民生委員児童委員協議会だより

つむぐ

第6号

発行 令和6年4月22日
 発行元 塩田町民生委員児童委員協議会
 責任者 諸岡 博子
 題字 光武 道子

多様化・複雑化する課題
 「大切にしたい「つなぎ役」
 としての連携・協力」



塩田町民生委員児童委員協議会
 会長 諸岡 博子

令和4年12月の一斉改選から1年が経過しました。担い手確保が困難な中、我が塩田町は民生委員児童委員28名、主任児童委員2名、欠員もなく住民に寄り添いながら身近な相談相手として担当地区での活動をしています。

今年1月、能登半島地震が発生しました。いつ我が身に振りかかってもおかしくありません。発生時において、自分自身の身を守りながらの活動を心がけていきたいと思っています。

コロナがひと段落しました。コロナ禍で人との付き合いが希薄になったり、物価高騰の影響により生活が苦しい家庭が増えていたりしているようです。嬉野市

民生委員児童委員協議会では、ひとり暮らし高齢者の実態調査を実施しました。「主任児童委員制度」は

令和6年1月に創設30周年を迎えました。

昨今、子ども子育て家庭に関する環境が複雑化・多様化しつつあります。新たに、ヤングケアラー（本来、

大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常に行っている子ども）の問題も浮かび上がってきました。この問題においても、身近な相談相手である民生委員児童委員や主任児童委員が関係機関への「つなぎ役」として連携・協力しながらの活動を大切に行いたいと思います。

毎月の定例会では、児童福祉に関する支援を専門的に担当する主任児童委員への理解、活動環境の整備、関係機関等との連携・協働への課題共有、孤立感の解消などを重要視していきます。

地域共生社会（住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会）の実現を目指し、社会状況の変化する時代であっても私たちは「民生委員児童委員信条」をしっかり守りつつ地域全体を見守りながら活動を続けて参ります。

あっという間に1年



50年余り勤めた仕事を終えてこれから先何をしようか？ブラブラしていた時、近所の井戸端会議で「どこか行きたい」との話。「俺が連れて行くよ」。その時から少しだけでもボランティアをしようと思っていた時、区長さんから民生委員の話がきました。大変だろうなと思いながら引き受け、今では楽しく訪問させてもらい昔話から世間話まで。僕より年上の方々だから勉強になります。委員を引き受けてほんとよかったです。

（鳥坂・石垣地区 筒井良史）



区長さんから民生委員の依頼を受け、夫からは「地域のために少しでもできることはせんぞ」と言われ、民生委員を引き受けて早1年、不安だらけで始まった民生児童委員としての生活でした。しかし、毎朝、地区の子ども達の登校を見守り、声をかけることは私の楽しい時間となりました。まだまだわからないことがたくさんありますが、少しでも地域の方のためになるような活動に努めていきたいと思っています。

（冬野・牛間田地区 前田美恵子）



民生委員児童委員の職を受け、1年半程過ぎましたが、定例会・研修会・ボランティア活動等を経験し、民生委員のあるべき姿を少し学んだ気がします。

地域の相談相手として地域の方が困りごと等を気軽に相談でき、住み慣れた地域で安心して過ごせるように、微力ながら協力できればと思います。今後も皆様のご指導のほどよろしくお願いします。

（南志田地区 寺井幸雄）



民生委員になりあっという間の1年でした。定例会に参加してもなかなか理解できず戸惑う事ばかりでしたが、先輩の委員にご指導頂きました。まず私が取り組んだのは独居・高齢者宅の訪問でした。ある高齢者の方が足や腰が痛く歩行困難とのことだったので、ご家族に介護保険サービスの利用ができるよう申請のアドバイスをしました。

今後もこまめに地域を訪問し、体調確認や相談相手になれる様に努めていきます。（布手・下野辺田・本谷地区 森 和子）

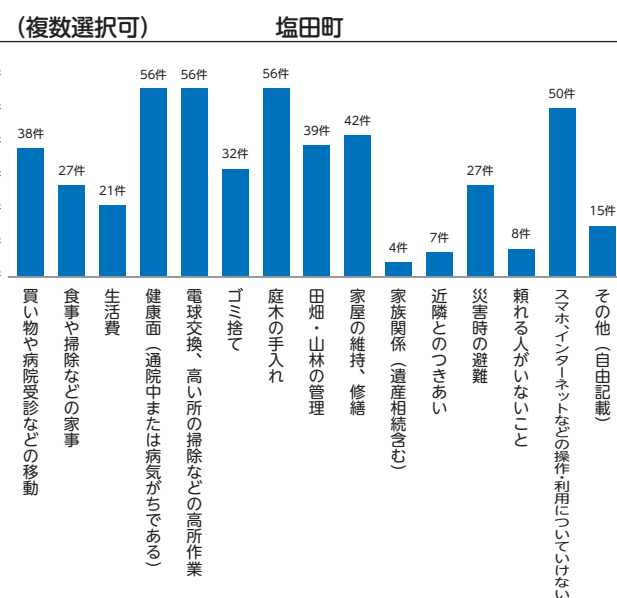
困りごとをお聞かせください

『ひとり暮らし高齢者の実態調査』を行いました

令和5年12月、嬉野市民児協では一人暮らし高齢者の実態を知り、見守りなど日常の活動に生かすことを目的に、民生・児童委員による対面調査を行いました。特に、光熱水費、諸物価高騰の折、ひとり暮らしの高齢者がどのように生活しているかを少しでも知ることができました。調査対象は、75歳以上のひとり暮らし高齢者。一人に10項目の質問を行いました。塩田町対象者数（住基上）298人、回答数179人で回収率60.07%、年末の慌ただしい中、ご協力ありがとうございました。



表1 日常生活で困っていることはありますか。



（表1）の日常生活で困っていることはありますかの質問に対する回答で多かったのが、健康面（通院中又は病気がちである）電球交換、高い所の掃除などの高所作業、買い物や病院受診などの移動、庭木の手入れや不動産の維持管理と続き、頼れる人がいないと答えた人もいらっしゃいました。スマホ、インターネットなどの操作・利用についても上位にありました。

次に（表2）の家計で負担に感じている内容に対する回答では、光熱水費や医療保険料、タクシー代など交通費が続き、食費、介護保険料、慶弔費と回答がありました。

表2 家計で負担に感じている内容

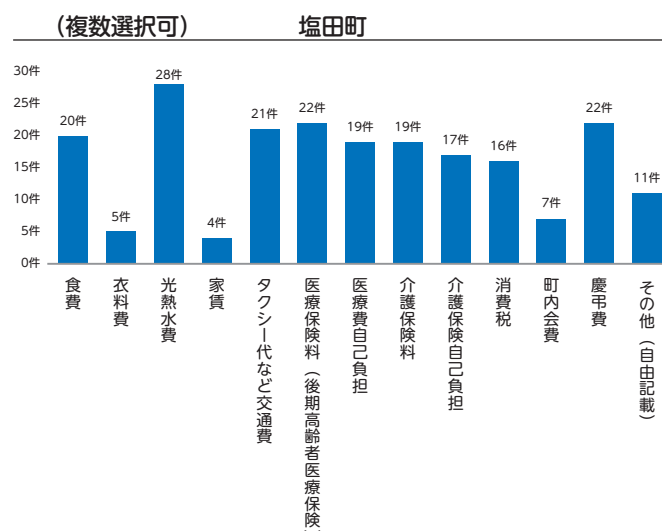
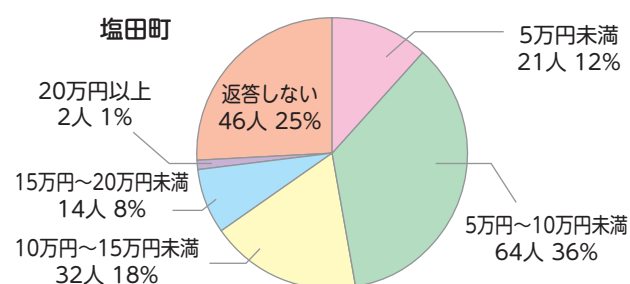


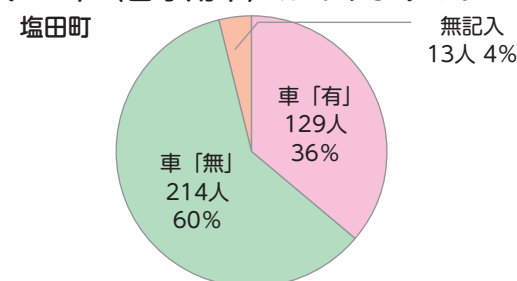
表3 1か月の生活費を教えてください。
(年金なら介護保険料など控除後)



半数近い48%（85名）の方が現在の生活が厳しく今後の生活に不安を感じているとの回答がありました

この紙面には塩田町の調査結果の一部を紹介しましたが、今後嬉野市民児協で分析後、市長に結果を報告し、「嬉野市第3次地域福祉計画」にもとづき、2025年問題を迎えるための政策に反映してもらいたいと思います。

表4 車（自家用車）はありますか。



車「無」60%の方々、通院・買い物に加え所用などの外出が不便で困っているとの回答が多くみられた

専門部会を紹介します

社会福祉部会

部会長
下村サヨ子



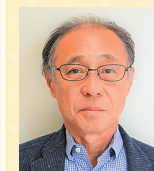
たちはな学園の夏祭り・秋の収穫祭にボランティアとして参加しました。社会福祉部委員をはじめ、多くの委員に手伝いに来て頂きました。コロナ禍を経て久しぶりの祭りで、多くの方が来場され大盛況でした。参加者のみなさんのいきいきとした顔を見ると、また何か活動をしたという意欲がわいてきます。その雰囲気会議に持ち込んで、有意義なものに出来たらいいなあと思いました。



たちはな学園夏祭り

高齢者福祉部会

部会長
水山 清吾



誰でも老いていきます。部会では、高齢者施設への視察研修や専門講師を招いての講演会等を実施しています。そして、健康で楽しい老後を送るための話題を見つけ集めて活動について話し合いをしています。令和5年度は、老化と認知症（予防）について社協より講師をお招きして講義頂きました。また、地域包括ケアシステム事業の「地域支え合い」で成功している武雄市西川登町の「かんころの家」を視察しました。組織構成や取り組み等について話を聞き、意見交換もでき、これからの活動の参考にしたいと思います。



かんころの家視察

児童福祉部会

部会長
辻 正文



児童福祉部会の活動は新型コロナウイルス感染症の影響により久しぶりに開催することになりました。4月にはあいさつ運動を各地区で実施し、子どもたちも元気に答えてくれました。6月には委員が6～7名ずつに分かれ各保育園を訪問しました。子どもたちが元気よく遊んだり、本を読んだり楽しそうに過ごしていました。給食はアレルギーにも対応し、美味しく作ってられるとのこと。9月には児童養護施設済昭園の子どもたちとの交流会を行い、子どもたちと委員とでゲームを楽しみました。



登下校見守り・あいさつ運動



子どもたちとの交流会

ボランティア部会

部会長
植松 啓彰



ボランティア部会では主に毎月1回定期的に特別養護老人ホーム済昭園でシーツ交換のボランティア活動を行っています。コロナ禍で3年間の中止を経て昨年7月より活動を再開しました。多忙な民生委員活動の合間を縫って毎回多い時で約半数近くの参加があります。利用者さんの施設での生活ぶりに接しながらも挨拶や何気ない会話、感謝の笑顔などこちらがほっこりする事も多く、寄り添う気持ちと一期一会を大切にしながら今後も活動出来たらと思っています。



シーツ交換

広報部会

部会長 江口佐美子



「つむぐ6号」の発行にあたり、活動報告の依頼有。「エッ!! 部署異動して未だ1カ月の私に何を書けと云うのか!」些か無茶振りの依頼に「小さな胸」を痛めながらも取り敢えずペンをとる（素直な私）。まずは広報とは何ぞや?からのスタート。①年会報誌「つむぐ」作成発行②月定例会での学習・伝達事項等情報伝達。以上の2点が主ではないかと自分なりに解釈するも、前任者の方の文章力には程遠く足元にも及ばない私ですが、皆様にご協力頂きながら活動させて頂きたいと思います。以上活動報告成らぬ決意表明となり悪しからずご容赦くださいませ。



編集会議

令和4年度 委員活動状況

項目		委員数	塩田町	嬉野町	嬉野市全体
			30人	44人	74人
内容別相談・支援件数	在宅福祉	57	96	153	
	介護保険	6	18	24	
	健康・保健医療	13	99	112	
	子育て・母子保健	11	7	18	
	子供の地域生活	831	93	924	
	子どもの教育・学校生活	144	111	255	
	生活費	14	42	56	
	年金・保険	3	4	7	
	仕事	5	1	6	
	家族関係	16	22	38	
	住居	20	15	35	
	生活環境	21	76	97	
	日常的な支援	368	432	800	
	その他	400	540	940	
	計	1,909	1,556	3,465	
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	441	1,028	1,469	
	障害者に関すること	30	40	70	
	子どもに関すること	1,193	190	1,383	
	その他	245	298	543	
	計	1,909	1,556	3,465	
その他の活動件数	調査・実態把握	343	337	680	
	行事・事業・会議への参加協力	685	493	1,178	
	地域福祉活動・自主活動	1,710	853	2,563	
	民児協運営・研修	586	480	1,066	
	証明（調査・確認等）事務	146	276	422	
	要保護児童の発見の通告・仲介	4	1	5	
訪問回数	訪問・連絡活動	2,641	5,206	7,847	
	その他	631	1,653	2,284	
連絡回数	委員相互	799	689	1,488	
	その他の関係機関	351	775	1,126	
活動日数		5,001	5,725	10,726	

* 塩田町は児童関連が多い

夢に向かって大きく羽ばたいて

主任児童委員制度創設30周年



主任児童委員
筆 成善

3月は、旅立ちの季節でもある。私の勤める保育園にも、市内の小中学校を卒業した卒園児たちが、卒業の報告に訪ねてきてくれる。どの子も、卒園した時の、あの小さかった体は見違えるほどに大きくなり、あどけなかつた表情もたくましく変化し、「無事卒業しました。」と、笑顔で報告してくれる姿に、胸が熱くなり、子どもたちの希望に満ちた表情に、「夢に向かって大きく羽ばたいてほしい」と願うことである。

年々、近隣関係の希薄化や核家族化に伴う子育て家庭の孤立化の問題や、いじめ・不登校・ひきこもり・児童虐待等の子どもをめぐる問題が深刻化し、子どもの育ちに様々な影響を及ぼしている。こうした中で、地域の子どもたちが笑顔で健やかに育つためには、地域社会の連帯や関係機関との連携が重要になってくる。

今年は、主任児童委員制度が創設されて30周年を迎える。私も、先任の方々のように、主任児童委員として、様々な困りごとを抱えた子どもたちや子育て世帯を地域全体で支えていくために、民生委員や福祉関係者、行政や教育機関と、より一層の連携を深めていきたいと思う。



令和5年度 主な活動

登下校の見守り・あいさつ運動

ひとり暮らし高齢者等訪問

済昭園シート交換ボランティア
(令和5年7月から再開)

「民生委員・児童委員の日」美化・広報活動

町内保育所・小学校訪問

たちばな会夏祭り・収穫祭への参加・ボランティア

地区敬老会への参加

済昭園児童との交流会

視察研修(武雄市 かんころの家)

高齢者世帯等へのごみ袋配布

(プラットフォーム整備事業)

ひとり暮らし高齢者生活実態調査実施

救急医療情報キットの配布・内容更新確認



「民生委員・児童委員の日」
美化・広報活動(5月)



高齢者世帯等へのごみ袋配布(12月)



地域コミュニティ防災訓練
への参加

編集後記

又々右も左も分からない迷子の私の登場です。確か記憶では一年前の「つむぐ」でこの様な言葉でスタートさせて頂きながら右左が分かりかけたこの時期に又新たに広報部長という右左に加え東西南北の大迷路が!!「私何か悪か事したとやらか!」と夢である事を祈りほったたをつねるも「痛ッ」もはや後に続く言葉がみつからず。この上は諸先輩方の経験と知恵を仰ぎながらの再スタートです。後押しするは些か太目の私ですがご協力宜しくお願いします。
(江口佐美子)